



ŌMIYA NEWS



No.37

2022年9月4日

JR東労組大宮地本

値上げラッシュで暮らしは厳しくなるばかり！

私たちの暮らしを守り、安心して働き安全輸送を実現するために
生活実感と労働実感に即したさらなる賃上げが必要だ！

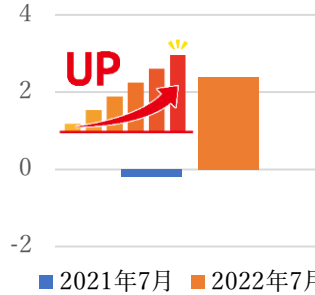
コロナ禍や円安、ウクライナ侵攻の影響で値上げが相次ぎ、私たちの暮らしに大きく影響しています。7月の消費者物価指数は前年を2.4%上回り11か月連続で上昇中です。

物価上昇の要因はエネルギーや食料品の価格上昇で、電気代が約20%、食料油が約40%も値上がりし、その他の生活必需品や電化製品等も大きく値上がりしています。

(NHK NEWSWEBの配信記事より)

消費者物価指数

(前年比増減率)



主な品目の値上げ率

電気代	19.6%
ガス代	18.8%
食用油	40.3%
カレー	15.0%
食パン	12.6%
玉ねぎ	71.2%
洗濯機	15.8%

また、今後さらなる値上げが見込まれます。

調査によると、今年度値上げ済み・値上げ予定の企業は約7割に上り、うち16.7%がこの秋に実施予定。さらなる値上げラッシュが続きます！

例えば食品では、8月までに既に10489品目が値上げ済みで、9月以降8043品目が値上げ予定。累計18532品目が今年中に値上げされ、平均値上率は14%にも及びます。

(帝国データバンクの調査結果より)

～値上げされる食品の例(分野別)～



	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	製粉・油・乳製品
品目数	7794	4350	3732	1192	526
値上率	16%	14%	15%	13%	13%
原因	物流・包装資材・円安	包装資材・円安	原材料・容器価格	原材料・包装資材	原材料・物流費
品目	水産品・ハム・冷凍食品	ドレッシング・マヨネーズ・だし	焼酎・ビール・発泡酒・炭酸飲料	スナック菓子・チョコ・アイス	パスタ・サラダ油・マーガリン

食品だけで18532品目が値上げされ、
平均値上率は14%にも上る！



一方、加速する円安により、今後も日常生活の多くの場面でさらなる値上げが見込まれます。

専門家の試算によれば、円相場が1ドル=140円の水準が続く場合、世帯支出は年間78,400円の負担増となり、私たちの家計は今後ますます厳しくなることが確実です！

(みずほリサーチ&テクノロジーの試算 NHK NEWSWEBより引用)



円安による物価上昇はさらに加速し、生活費はますます増大します！

私たちには今こそ、生活実感と労働実感に即した賃上げが必要だ！！
22春闘を教訓とし職場で議論を積み上げ、さらなるたたかいを創り出そう！